



2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年11月14日

上場会社名 株式会社 関門海

上場取引所 東

コード番号 3372 URL <https://www.kanmonkai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山口 久美子

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長

(氏名) 関口 弘一

TEL 072-349-9329

半期報告書提出予定日 2024年11月14日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	1,801	6.4	177		192		121	
2024年3月期中間期	1,692	40.6	150		180		84	

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 118百万円 (%) 2024年3月期中間期 83百万円 (%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	8.87	
2024年3月期中間期	6.19	

2025年3月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、2024年3月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
2025年3月期中間期	3,078		793		25.8	
2024年3月期	4,604		910		19.8	

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 793百万円 2024年3月期 910百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		0.00	0.00
2025年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,080	1.3	350	40.1	300	46.1	200	39.5	14.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	14,000,900 株	2024年3月期	14,000,900 株
-------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2025年3月期中間期	302,147 株	2024年3月期	302,147 株
-------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(中間期)

2025年3月期中間期	13,698,753 株	2024年3月期中間期	13,698,833 株
-------------	--------------	-------------	--------------

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(中間連結貸借対照表に関する注記)	8
(中間連結損益計算書に関する注記)	8
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間は、経済活動の正常化により人流が活発化したことで個人消費は依然回復傾向にあり、店舗売上高は引き続き増加しております。

また、訪日外国人観光客の増加によるインバウンド需要は堅調に推移しているほか、本社工場においても受注生産や百貨店等での通信販売への新商品投入などを行った結果、全体の売上高は、前年同中間期と比較し上回る結果となっております。

当社グループにおいては、通信販売への投入等がうなぎの販売の認知度向上にも寄与したほか、インバウンド旅行者にも好評な天然とらふぐコースや季節ごとに展開している「夏安居」、「秋津膳」を投入し販売を強化した他、かにコースの販売店舗拡大、「母の日・父の日・敬老の日」フェア等を開催し売上高増加に努めました。また、本社工場の人員を増強し、拡大する販路への多様な商品製造や店舗における使用食材の加工にも対応できるよう体制強化を進めております。

当社グループの主力事業である「玄品」等の直営店舗では、物価上昇に伴う節約志向はあるものの所得環境の改善等により個人消費は回復基調であり、うなぎ料理や夏季だけ販売の「夏安居」コース、天然とらふぐコースが好評だったほか、アジア地域だけではなくそれ以外の地域からのインバウンド旅行者の増加などが売上高増加に繋がり、直営店舗の既存店売上高は、前年同中間期比10.9%増となりました。当中間連結会計期間末の直営店舗数は、前期末から1店舗閉店により42店舗、直営店舗の売上高は1,494百万円（前年同中間期比7.7%増）となりました。

フランチャイズ事業におきましては、既存店末端売上高及び、とらふぐ等の食材販売等の売上高ともに前年同中間期を上回る結果となりました。当中間連結会計期間末のフランチャイズ店舗数は、上海淮海店の移転準備により一時閉店したため1店舗減少し23店舗となり、とらふぐ等の食材販売、ロイヤリティ等によるフランチャイズ売上高は121百万円（前年同中間期比7.8%増）、国内既存店末端売上高は、318百万円（前年同中間期比5.2%増）となりました。なお2024年10月より業態転換により直営店舗からフランチャイズ店舗に1店舗移管しております。

その他の業態の当中間連結会計期間末の店舗数は、前期末と変わらず1店舗、本部に係る売上高も含めた当中間連結会計期間の売上高は、その他の業態の店舗売上高及び、本部の食材の外部販売に係る売上が減少したこと等により185百万円（前年同中間期比4.0%減）となりました。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は1,801百万円（前年同中間期比6.4%増）となりました。利益面においては、店舗売上高増加に伴い売上総利益は1,238百万円（前年同中間期比6.0%増）となりました。販売費及び一般管理費については、コストの徹底管理を継続しているものの、従業員待遇向上のための昇給、賞与や新卒・中途を問わず人材の積極採用に係る経費の増加や広告宣伝費等が増加したこと等により1,415百万円（前年同中間期比7.4%増）となりました。これらにより、当中間連結会計期間の営業損失は177百万円（前年同中間期は150百万円の損失）、経常損失は192百万円（前年同中間期は180百万円の損失）、親会社株主に帰属する中間純損失は121百万円（前年同中間期は店舗の立退きに伴う受取補償金100百万円があったため84百万円の損失）となりました。

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

また、当社グループは、主力事業である「玄品」の季節変動が大きいことにより、上半期と下半期の業績に大幅な変動があります。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して1,525百万円減少し、3,078百万円となりました。これは、固定資産の投資その他の資産の「その他」に含まれる中間特有の会計処理に係る繰延税金資産の増加72百万円、商品及び製品の増加64百万円等の増加要因はあったものの、現金及び預金の減少1,558百万円、売掛金の減少79百万円、有形固定資産の償却による減少21百万円等の減少要因によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して1,408百万円減少し、2,285百万円となりました。これは、新規契約による長期借入金の増加293百万円、賞与引当金の増加9百万円等の増加要因はあったものの、既存借入金の返済及び新規借入金の差額による1年内返済予定長期借入金及び短期借入金の減少1,404百万円、未払金の減少102百万円、買掛金の減少92百万円、流動負債の「その他」に含まれる未払消費税等の減少87百万円、預り金の減少19百万円等の減少要因によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して117百万円減少し、793百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する中間純損失の計上に伴う利益剰余金の減少121百万円等によるものであります。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて1,108百万円減少し915百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は399百万円となりました。これは売上債権の減少79百万円、減価償却費42百万円等の増加要因があったものの、税金等調整前中間純損失の計上192百万円、仕入債務の減少98百万円、未払消費税等の減少87百万円、未払金の減少66百万円、棚卸資産の増加62百万円等の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は397百万円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出57百万円、差入保証金の差入による支出2百万円等の減少要因はあったものの、定期預金の払戻による収入450百万円、差入保証金の回収による収入5百万円等の増加要因によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,110百万円となりました。これは、長期借入れによる収入400百万円の増加要因があったものの、短期借入金の純減額908百万円、長期借入金の返済による支出602百万円の減少要因によるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年11月12日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,474,483	915,567
売掛金	248,605	168,994
商品及び製品	854,230	919,093
原材料及び貯蔵品	24,616	22,301
その他	59,008	67,455
貸倒引当金	△311	△281
流動資産合計	3,660,633	2,093,131
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	477,995	455,974
その他(純額)	49,571	50,554
有形固定資産合計	527,567	506,529
無形固定資産		
その他	15,239	14,503
無形固定資産合計	15,239	14,503
投資その他の資産		
差入保証金	274,696	269,760
その他	126,652	194,885
投資その他の資産合計	401,349	464,646
固定資産合計	944,155	985,679
資産合計	4,604,788	3,078,810
負債の部		
流動負債		
買掛金	218,217	125,515
短期借入金	2,284,874	1,376,812
1年内返済予定の長期借入金	602,626	106,656
未払金	276,270	173,810
未払法人税等	1,026	1,001
賞与引当金	37,583	47,257
株主優待引当金	16,120	11,181
その他	130,218	22,566
流動負債合計	3,566,937	1,864,801
固定負債		
長期借入金	100,000	393,344
その他	26,858	27,599
固定負債合計	126,858	420,943
負債合計	3,693,795	2,285,745
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	656,201	656,201
利益剰余金	531,520	410,466
自己株式	△288,020	△288,020
株主資本合計	909,700	788,647
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,233	4,417
その他の包括利益累計額合計	1,233	4,417
新株予約権	58	-
純資産合計	910,992	793,064
負債純資産合計	4,604,788	3,078,810

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	1,692,956	1,801,180
売上原価	524,984	562,680
売上総利益	1,167,971	1,238,499
販売費及び一般管理費	1,318,482	1,415,816
営業損失(△)	△150,511	△177,316
営業外収益		
受取利息	67	193
助成金収入	4,128	-
差入保証金回収益	-	2,000
持分法による投資利益	1,142	-
その他	1,595	1,126
営業外収益合計	6,934	3,320
営業外費用		
支払利息	16,911	14,318
社債利息	1	-
支払手数料	18,050	2,745
その他	2,392	1,751
営業外費用合計	37,356	18,814
経常損失(△)	△180,933	△192,810
特別利益		
受取補償金	100,000	-
新株予約権戻入益	-	58
特別利益合計	100,000	58
特別損失		
固定資産除却損	1,167	-
固定資産売却損	-	4
特別損失合計	1,167	4
税金等調整前中間純損失(△)	△82,100	△192,757
法人税等	2,639	△71,317
中間純損失(△)	△84,740	△121,439
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△84,740	△121,439

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純損失(△)	△84,740	△121,439
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,720	3,184
その他の包括利益合計	1,720	3,184
中間包括利益	△83,020	△118,255
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△83,020	△118,255
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失(△)	△82,100	△192,757
減価償却費	38,387	42,035
長期前払費用償却額	5,174	4,139
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△30	△30
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,066	9,674
株主優待引当金の増減額(△は減少)	4,977	△4,939
支払利息及び社債利息	16,912	14,318
固定資産除却損	1,167	-
売上債権の増減額(△は増加)	96,078	79,611
棚卸資産の増減額(△は増加)	98,328	△62,547
仕入債務の増減額(△は減少)	△46,887	△98,235
未払金の増減額(△は減少)	△93,015	△66,762
未収消費税等の増減額(△は増加)	△19,237	△7,680
未払消費税等の増減額(△は減少)	△142,313	△87,210
その他	△19,025	△12,609
小計	△149,650	△382,992
利息及び配当金の受取額	67	193
利息の支払額	△16,914	△15,455
法人税等の還付額	605	1
法人税等の支払額	△3,921	△1,026
営業活動によるキャッシュ・フロー	△169,813	△399,279
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△450,000	-
定期預金の払戻による収入	-	450,000
有形固定資産の取得による支出	△26,453	△57,025
有形固定資産の売却による収入	-	1,681
無形固定資産の取得による支出	△983	△621
差入保証金の回収による収入	10,391	5,865
差入保証金の差入による支出	△6,150	△2,023
長期前払費用の取得による支出	△5,117	-
その他	△8	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△478,321	397,868
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△555,125	△908,062
長期借入れによる収入	-	400,000
長期借入金の返済による支出	△34,873	△602,626
社債の償還による支出	△10,000	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△599,998	△1,110,689
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,720	3,184
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,246,413	△1,108,916
現金及び現金同等物の期首残高	2,810,177	2,024,483
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,563,763	915,567

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

当社グループは、店舗運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

当社グループは、店舗運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

※ 当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行7行と貸出コミットメント契約及び当座貸越契約を締結しております。これらの契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。なお、前連結会計年度の契約は期間満了により終了しており当中間連結会計期間の残高は新たな契約によるものとなっております。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
貸出コミットメントの総額	500,000千円	-千円
当座貸越極度額	1,010,236	1,600,000
借入実行残高	1,475,453	1,376,812
差引額	34,782	223,188

(中間連結損益計算書に関する注記)

※1 当社グループの売上高は、通常の営業の形態として、冬場におけるとらふぐ料理の需要が大きいため、連結会計年度の上半期の売上高と下半期の売上高との間に著しい相違があり、上半期と下半期の業績に季節的変動があります。

※2 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
労務費	506,330千円	564,624千円
地代家賃	192,699千円	195,120千円
賞与引当金繰入額	20,899千円	47,257千円
株主優待引当金繰入額	22,047千円	11,181千円

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
現金及び預金勘定	2,013,763千円	915,567千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△450,000	-
現金及び現金同等物	1,563,763	915,567